

塩津小学校からの報告

活動団体名： 長浜市立塩津小学校 3年生

活動人数： 17人（教員2名）

取組時間：総合的な学習の時間

調査内容

1回目：6月16日（木） 大川（沓掛方面） 曇り
2回目：6月21日（火） 大川（塩津中方面） 曇り

本年度の調査活動では、例年と同じく現地に赴き実際に河川に入っただけの調査を行いました。主にザルを用いて、足や手で川底をゆすりながら水生生物をすくっていきましました。児童は巻き上がった泥や水草の中から現れる水生生物の姿に驚いていました。冷たい水に声を上げる児童や、水に入るのを怖がっていた児童もいましたが、次第に水にも慣れ夢中になって水生生物を捕まえて観察していきましました。児童は普段見ない水生生物の姿に興味津々で、その形や色、動きに注目していきましました。自ら講師の先生のところに行って質問し「この生き物はレアらしいで。教えてもらた。」と教えていただいたり、感想を伝えたりしていきましました。友だちが珍しい生物を捕まえると、自分も見つけないかと言って、さらに川に入っただけでいきましました。川から上がると、バットに入っただけでたくさんの水生生物を見て、「先生、これ学校で飼いたいから持って帰る。」「いや、かわいそうやし（勉強のためだから）川に逃がしたろ。」と生き物へより一層の関心を抱いていきましました。子どもたちの興味は採取することだけに留まらず、まとめの学習に繋がっていきましました。



調査員の感想

- 自分たちの住んでいる町の川のことなのに知らないことがたくさんあって、それを知ることができてよかった。
- 大川にはよく行くけれど、その大川にはまだまだ知らないたくさんの生き物がいることを知れてよかった。
- 大川はきれいだと思っていたけれど、けっこうごみがあったり、どろがあったりしておどろいた。

捕まえた生き物たち

サワガニ、スジエビ、ウキゴリ、カワヨシノボリ、ヤマトビケラ、ヘビトンボ類、トビケラ類、カワニナ、ナベブタムシ、ゲンゴロウ、ヤツメウナギ、カジカ、タカハヤ、カワゲラ、ブユ類、ガガンボ類

調査のまとめ

調査の結果、調査した河川（大川）は水質階級「Ⅰ」と判定できました。しかし、その川をきれいだと思わない児童が多くいましました。その原因は、ごみ（ビニール袋、お菓子の袋、空き缶）が目立っていたことです。多くの水生生物を発見できた反面、そうした環境問題に直面した児童は、きれいな川に生き物が棲めるようにどんな取組ができるか、これから自分たちができることはないかを考えていきましました。これまでの大川の歴史を調べ、その歴史の中で川を汚してしまった要因を繰り返さないようにしよう、川にごみを捨てる人がいないように呼びかけよう、大川のきれいな水をアピールするためにきれいな水にいる水生生物をもっと調べようなど、それぞれの視点で大川について考える学習となりました。



活動の様子

【講師の先生教えてください】



【ほら 見つけたよ！】



【冷たい水でもがんばるぞ！】



【ここ！ここ！見つけたぞ！】



【いっぱい見つけたよ！】



【どこにいるかな？探してみよう！】



【よーし！観察するぞ！】



【生き物さん ありがとう】

